

内閣改造・自民党役員人事について

主要閣僚の大半が留任となり、安定した政権運営のもとでアベノミクスを継続して推し進める体制を重視したものと歓迎している。自民党役員人事においても安定感のある配置となり、安倍総理の更なる長期政権への布石になるのではないかと見られる。地元・京都としては、ケガの影響で幹事長を辞任することになった谷垣氏は残念、1日も早い回復を心よりお祈り申し上げたい。

安倍総理には引き続き経済最優先の方針を貫き、この度決定した28兆円の経済対策による財政支出や大胆な規制緩和を呼び水として、成長分野への未来投資の加速や消費の拡大につなげることにより、国民の将来不安の解消に全力をあげてもらいたい。

一億総活躍社会の実現には、女性の活躍や長時間労働の是正をはじめ、子育てや介護をしながらでも働きやすい環境づくりは待ったなしの課題であり、新設された働き方改革担当相にはその旗振り役を大いに期待している。

また、文化庁移転に向け、新しく就任された松野文部科学大臣には、これまで馳前大臣が取り組んでこられた道筋を継承いただき、移転への早期具体化を求めたい。

以 上

平成28年8月3日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄